

1 教材・教具名  
振動スピーカー

2 教科・領域  
自立活動

3 指導目標、指導内容、指導方法  
(指導目標)

- ・音や振動を感じて、表情の変化や発声でこたえることができる。(聴覚、固有感覚、意思の表出)

(指導内容)

- ・振動スピーカーを抱きかかえて、楽器の音色や動物の鳴き声、人の声や音楽を聴く。

(指導方法)

- ・大きめのペットボトルの中にスピーカーを入れて準備する。
- ・振動を感じたり耳元で音を聴いたりできるように、振動スピーカーを生徒が抱きかかえるように置く。

4 工夫点、おすすめポイント

- ・楽器の音色だけでなく、演奏家を感じている楽器の振動がそのまま感じられるので、肌で音や旋律を体感できる。
- ・耳元で鳴らすため、ボリュームを上げなくてもよく聴こえ、体で音の振動を感じられる。
- ・ボディソニックのようにエンクロージャー（ペットボトル）が振動する。

5 作成について

①材料や大きさ

- ・4L程度（ワイヤレススピーカーの大きさと出力に合わせる）の（軽量化されていない）ペットボトル
- ・プラカップ（ホーン筒）
- ・セロハンテープ（ビビリ音や音割れ防止）

②使用道具

- ・カッター
- ・はさみ

③作り方

- ・ペットボトルの底の部分と胴の部分に切り分けて、スピーカーを入れる。
- ・ビビリ音や音割れ防止のために、ペットボトルの切り口にセロハンテープを貼って隙間が開かないようにする。
- ・プラカップの底にペットボトルの口部の大きさの穴を開ける。
- ・ペットボトルの口部にプラカップをねじ込む。

